

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスまあぶる

## 支援プログラム（参考様式）

作成日 2025 年 10 月 1 日

法人（事業所）理念		「すべては笑顔のために」			
支援方針		子ども達の見えない不安に寄り添い、受け入れやすい刺激を創造し、興味関心の扉へと導きます。興味関心を実現化するために、『やりたいことが出来るカラダづくり』を支援しています。運動療育とはカラダ育てであり、思考を現実化するためのカラダを育むことです。適切なカラダへの運動刺激は、最良の脳への発達刺激となり、カラダも心も大きく成長することが出来るようになります。まあぶるでは「楽しさ」を最優先に、本人たちの積極性を生み出す工夫や <b>成長に導く最適な環境づくり</b> を大切にしています。			
営業時間		12 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎実施の有無	あり なし ※地域により要件あり	
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・家庭や学校等での様子（困り感、苦手さ）から、改善に繋がるため <b>本人およびご家族様へ助言等（ペアレントトレーニング）</b> を行います。 ・生活基本動作（ADL）に対し必要に応じた補助、指導を行います。			
	運動・感覚	・様々な遊具等を有効活用し、様々な感覚の統合に繋がる運動等に取り組みます。 ・発達の原則に沿い、個々に合った発達段階における運動を提供します。 ・ <b>週ごとに活動プログラムを構成し、常に変化させることで「楽しい中で取り組める」よう導きます。</b>			
	認知・行動	・様々な概念（物質、時間、距離、対人など）に対し、正しい理解、経験に繋がるよう多様な活動を提供します。また生活上での場面に適した行動を学ぶための介入、助言を行います。			
	言語 コミュニケーション	・言語の認識、読み書きなどの苦手さに対し、個々の発達段階に合わせたやりとりを意図的にを行い、コミュニケーション機会を多く提供します。 ・ <b>「やりとりの苦手さ」に対し、適宜助言を行います。安心してやりとりできるよう「大人とのやりとりを大切に」しつつ、「他者への橋渡し」「具体的な表現方法」など、段階に応じて導きます。</b>			
	人間関係 社会性	・対人関係でのトラブル、良好な関係性の構築方法を学ぶため様々な遊びや活動を通じて「他者の気持ち」を考えてみる機会を設けます。社会的マナーやルールの理解に加え、集団指示から必要に応じて個別に対応します。 ・ <b>屋外活動を通じて、公共機関、公共施設を利用し、それぞれで異なるルール理解など、社会経験を積み重ねるサポートを行います。</b>			
家族支援		・家族負担の軽減を計るため、自宅や教育施設関係への送迎対応を行います（要相談）。 ・ご家族の不安や心配を和らげ精神面を安定化させ、本人の健全な成育につなげるための相談援助を行います。	移行支援	・保育所や幼稚園、進学、就労先など将来を見据え、児童の移行先と連携し、包括的な支援を提供します。 ・本人への支援を最優先に考え「必要な支援」「必要な環境」を総合的に判断し、必要に応じて他事業所等への移行提案を行う場合があります。	
地域支援・地域連携		インクルージョン（地域社会への参加・包摂）を推進する観点から、様々なイベントや活動を実施し、公共機関を利用した移動体験（電車、バスなど）、公共施設を利用し、地域の方々と接する機会を提供します。また、お金を使用する機会も設け「お金の管理」「お金の概念」を学ぶ機会も提供しています。	職員の質の向上	年間を通じて、専門的視点によるアセスメントに必要な「基礎知識」を学ぶ社内研修、「新任者向け社内研修」、繰り返し学ぶことができる「社内研修サイト」を創設。また職員の社会人としてのスキルアップを目的に「外部講師による研修」の実施。様々な運動を提供するために必要な補助技術を学ぶための「体育指導者検定」の受講など、様々な研修機会を定期的に設けています。	
主な行事等		お花見、公共機関を利用した外出、水遊び（海・川）、公共施設の見学、クリスマスイベント、雪遊びなど			